

# 高等学校 芸術科【美術】 評価の例

(参考) 『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料  
 【高等学校 芸術(美術)】 国立教育政策研究所

事例(美術Ⅰ) 「絵画・彫刻「A表現」(1)、「共通事項」」及び「作品や美術文化などの鑑賞「B鑑賞」、「共通事項」」  
 題材名 「人物像を見つめて描く～自己や他者の内面に触れて～」

題材の評価規準 16時間 (1.作品の鑑賞(2時間) 2.発想や構想(4時間) 3.制作(8時間) 4.鑑賞(2時間))

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>【知識】</b> 形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p><b>【技能】</b> 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し主題を追求して創造的に表している。</p>	<p><b>【発想や構想】</b> 自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p><b>【鑑賞】</b> 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p><b>【表現】</b> 主体的に自分や家族、友人などの身近な人を見つめ感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。</p> <p><b>【鑑賞】</b> 主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい人物像などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p>

## 「知識・技能」の【知識】(知識:共通事項)

### 【造形的な視点を豊かにするための知識】

ここでの知識は、表現や鑑賞の場面において、学んだ知識を生かして、形や色彩などの造形の要素に着目してそれらの働きを捉えたり、全体に着目して造形的な特徴などからイメージや作風を捉えたりできるようにするなど、単に暗記することに終始するような知識ではなく、美術の学習の中で生きて働く知識として実感的な理解の実現状況の評価することが求められる。

## 「主体的に学習に取り組む態度」

学習活動における「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」を身に付けようとしたり、発揮しようとしたりすることへ向かう主体的な学習に対する態度を評価する。

特に表現活動では、アイデアスケッチを熱心に繰り返し描いたり、材料や用具の特性を生かそうとするなど、表現方法を創意工夫したりするような能動的な姿、試行錯誤を繰り返し粘り強く取り組んだり、よりよい表現を目指して発想や構想及び技能を工夫改善したりしていく様子などの姿を捉えながら指導と評価を行うことが大切である。

作品やワークシートの記述からは、この生徒が、形や色彩などの性質やそれらが感情にもたらす効果、友人の表情やしぐさなどから、その人らしさの全体のイメージなどを捉えることを理解しながら、意図に応じて表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表していることを見取ることができる。

## 【生徒の学習の実現状況を見取るための資料の例】

ワークシート、発言の内容、活動の様子、アイデアスケッチ、制作途中の作品、完成作品

## <生徒の作品とワークシートの記述例>



## <生徒のワークシートの記述(部分)>

### 作品名「芯の確立」

私は今回の授業で友人を描きました。高校生活を一緒に過ごす中で彼がとても芯のある人だと思ったので、作品名を人格の「芯」と自己の確立から「芯の確立」としました。彼の人の人柄を表現するのに一番近いイメージを考えて電車の中を選びました。電車はいろいろな人が利用することで、その中には様々な感情が入り乱れていると思います、赤や青そして黒などを使い感情の乱れを表現しました。そして彼を白色で表して、彼にその中でも染まらず自分の芯を貫いて欲しいという私の気持ちを表現しました。

右のワークシートの下線の記述から、全体のイメージを捉えて、友人の人柄をよりよく表現するために電車の中の場面を選んで描いていることや、人々のもつ様々な感情や、作者自身の友人に対する願いを表すために、配色効果などを考えた工夫が読み取れる。

# 高等学校 芸術科【美術】 観点別学習状況の判断の例

事例(美術Ⅰ) 題材名「人物像を見つめて描く～自己や他者の内面に触れて～」

(参考)『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」 国立教育政策研究所

評価の観点		題材の評価規準 (B:「おおむね満足できる」状況)	Aの具体例 (A:「十分満足できる」状況)	Cへの手立て (C:「努力を要する」状況)
知識・技能	知識 (共通事項)	形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果を <b>多様な視点から理解したり、幅広い視野に立って造形的な特徴などを基に、表情やしぐさなどから、その人らしさなどの全体のイメージなどで捉えることを理解している。</b>	形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果を <b>実感的に理解できるように、具体例を示しながら考えさせる。</b>
	技能 (表現)	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	意図に応じて <b>多様な視点から</b> 材料や用具の特性を <b>効果的に</b> 生かすとともに、表現方法について <b>試行錯誤を重ねて</b> 創意工夫し、主題を <b>あらゆる可能性から</b> 追求して創造的に表している。	材料や用具の特性の生かし方や様々な表現方法について <b>実際に材料や用具を用いながら説明し、試させたり、主題を確認させて生徒自身が表したいことを整理させたりする。</b>
思考・判断・表現	発想や構想 (表現)	自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	自己や他者などを <b>深く</b> 見つめ、 <b>その人らしさについて</b> 感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などを基に主題を生成し、 <b>よりよく</b> 表現形式の特性を生かし、 <b>知識を効果的に活用しながら幅広く</b> 形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	自分の内面や他者の表情やしぐさなどから、 <b>その人らしさについて考えさせたり、</b> 感じ取ったことや考えたことなどを <b>振り返らせたりしながら、主題と造形の要素の効果や構成などとの関係について</b> 考えさせる。
	鑑賞	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	<b>多様な視点に立って、</b> 造形的なよさや美しさを <b>より深く</b> 感じ取り、 <b>知識を効果的に活用しながら</b> 作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて、 <b>自分としての根拠をもちながら関連付けて捉え、</b> 見方や感じ方を深めている。	<b>主題から作品を見つめさせたり、作者の心情について</b> 考えさせたりすることや、自己の表現の活動を振り返らせて、 <b>表現で学んだことと関連させながら</b> 見方や感じ方が深められるようにする。
主体的に学習に取り組む態度	表現	主体的に自分や家族、友人などの身近な人を見つめ感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。	<b>より主体的に自ら進んで</b> 表現の創造活動に取り組み、 <b>よりよい表現を目指して、表現形式の特性の生かし方について考えようとしていたり、知識を効果的に活用し、形体や色彩などについて試行錯誤を重ねて創意工夫したりして粘り強く創造的に表そうとしている。</b>	生徒自身の <b>表したいことを整理させ、</b> 様々な <b>材料や用具、表現形式について具体的に示し、それらの生かし方から主題を基にした構想を練らせたり、主題を追求して表すことができるようにする。</b>
	鑑賞	主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい人物像などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	<b>より主体的に自ら進んで</b> 鑑賞の創造活動に取り組み、 <b>作品に表された人物像を深く見つめ、知識を効果的に活用し、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて幅広く考え、粘り強く見方や感じ方を深めようとしている。</b>	<b>自己の作品の意図と関連させ、</b> 作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて気付かせるようにする。